

アグリ | ワーク | ポイント



果樹林産センター 小柳博明

収穫

「青島温州」の収穫は、果実の着色を見て判断していきます。着色が7分以上のものから区分収穫をしてください。収穫時は手袋をはめ、軸の二度切りを徹底して果実にキズを付けないように丁寧な作業をしましょう。コンテナに果実を移すときも、衝撃を与えないような低い位置で収穫かごを空けましょう。

予措

収穫後の果実に「予措」を行うことで、果皮を乾燥させて浮皮の進行や腐敗発生を抑える効果が期待できます。風通しの良い倉庫や貯蔵庫などに果実を置いて、1〜2週間かけて果実重量を3%程度減少させましょう。

浮皮軽減対策

浮皮軽減対策として、クレントまたはフィガロン乳剤を適期に散布しましょう。

- ・クレント 100倍（4〜5分着色期）

散布後の降雨は効果を低下させるので、天候を確認してから散布します。

- ・フィガロン乳剤 3000倍（虫尻期）

使用回数は熟期促進と合わせて2回まで、摘果剤等も含めて総使用回数は4回までです。また、樹勢の低下した樹には散布しないでください。

秋肥

秋肥の施用は、収穫後の樹勢回復や耐寒性を向上させる「礼肥」の働きと、次年度の着果量や発芽量を確保する「元肥」の働きがあり重要な管理です。地温が12℃以下になると吸収効率が悪くなるため、適期に適量を施用してください。

青島温州（11月上旬）

粒状固形 248 3袋/10a

または、柑配6号 4袋/10a

病虫害防除

貯蔵病害を予防するために、収穫前に防除を行います。もちろん防除だけでなく果実の丁寧な取扱いや予措、貯蔵管理の徹底なども重要です。

- ・ベフラン液剤25 2000倍（収穫前日〜3回）
- ・ベンレート水和剤 4000倍（収穫前日〜4回）